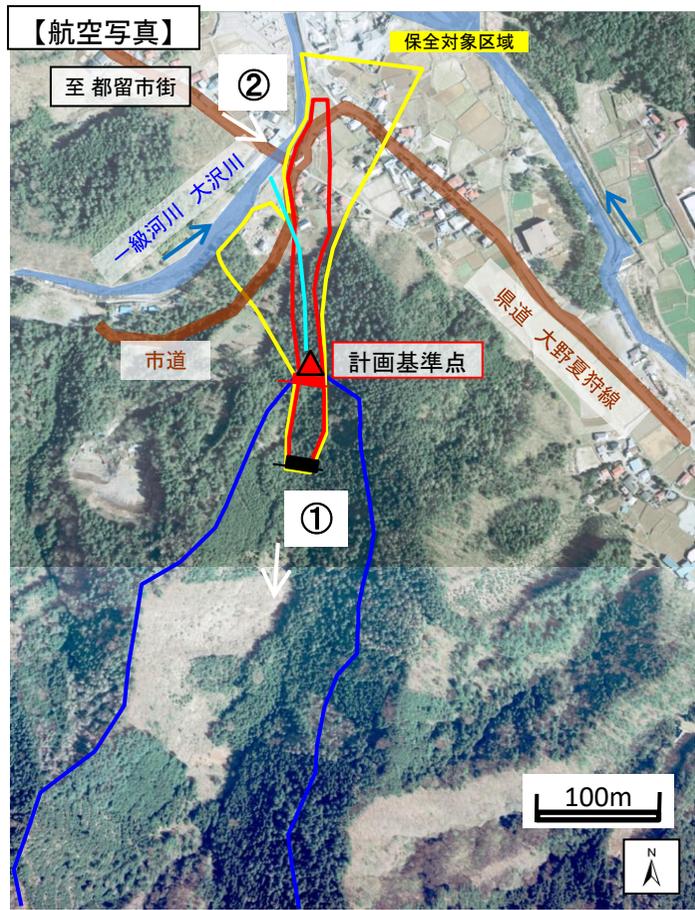
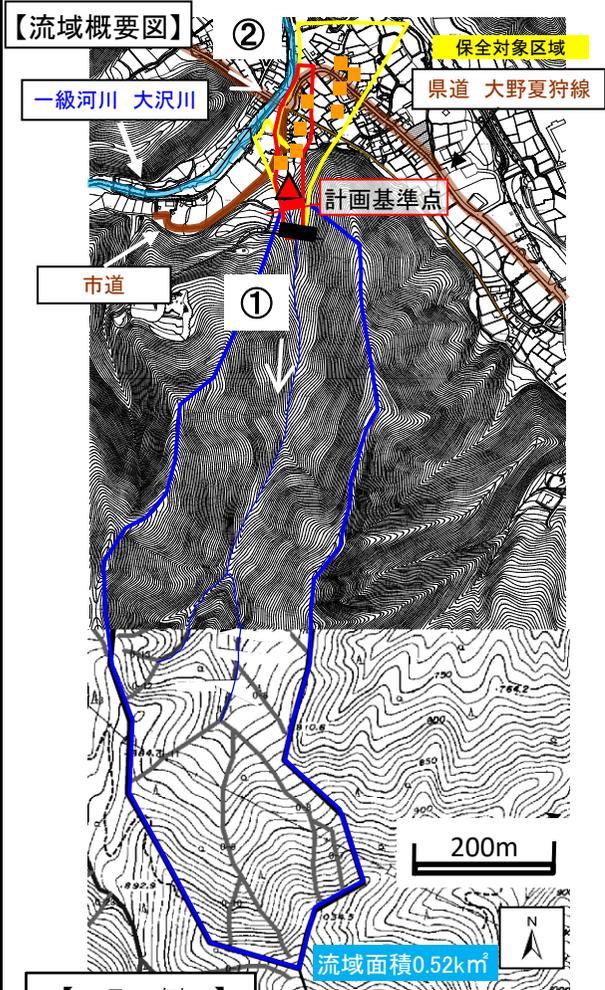


1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [通常砂防事業 (国補)]		事業箇所	都留市鹿留	地区名	糠蒔沢 (ヌカマキザワ)	事業主体	山梨県																																																																																																																																																																																																																														
(1) 事業の概要					(3) 事業の妥当性評価																																																																																																																																																																																																																																	
①課題・背景					<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%;"></td> <td style="width:50%; text-align: right;">妥当</td> <td style="width:50%;"></td> <td style="width:50%; text-align: right;">妥当でない</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 </td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 </td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ③経済妥当性 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>250 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R13</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>209 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">253 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>207 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">59 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>2 百万円</td> <td>公共土木施設等被害抑制</td> <td colspan="2">8 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">16 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">170 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">B/C</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1.2</td> </tr> </table> </td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="5"> ※その他は、応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失) 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている </td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="5"> ②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 60% < 70%未済※ ・重要公共施設の有無 無 (保全対象=人家10戸、県道L=110m、市道277m) ※評価基準値 </td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="5"> □副次目標 — □副次効果 — </td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">(2) 整備内容と整備量</td> <td colspan="4">④事業実施・規模の妥当性</td> </tr> <tr> <td colspan="5">①整備内容</td> <td colspan="4"> 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> ・砂防堰堤 1基 H=5.0m L=39.0m </td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">②着手年度 令和7年度</td> <td colspan="4">⑤整備手法の有効性</td> </tr> <tr> <td colspan="5">③完成見込年度 令和13年度</td> <td colspan="4"> 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設設計画とした </td> </tr> <tr> <td colspan="5">④総事業費 約250百万円 (国費125百万円(5/10)県費125百万円(5/10))</td> <td colspan="4">⑥環境負荷等への配慮</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td colspan="4"> 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮 </td> </tr> <tr> <td colspan="5">⑤年度別の整備内容 (事業費)</td> <td colspan="4">⑦事業計画の熟度</td> </tr> <tr> <td colspan="5">令和7年度 詳細測量、詳細設計、地質調査 20 百万円</td> <td colspan="4"> 地元の要望に基づいている </td> </tr> <tr> <td colspan="5">令和8年度 用地測量、用地調査、用地取得・補償 20 百万円</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">総合評価</td> </tr> <tr> <td colspan="5">令和9~13年度 砂防堰堤工事 210 百万円</td> <td colspan="4" style="text-align: right;">[貢献度ランク: b]</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 </td> <td colspan="4">(4) 事業位置図等</td> </tr> <tr> <td colspan="5">⑥既整備内容・期間・事業費</td> <td colspan="4">  </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> ・砂防堰堤 1基 </td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>					妥当		妥当でない	①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当				○				②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当				○				③経済妥当性				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>250 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R13</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>209 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">253 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>207 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">59 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>2 百万円</td> <td>公共土木施設等被害抑制</td> <td colspan="2">8 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">16 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">170 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">B/C</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1.2</td> </tr> </table>		総事業費	250 百万円	工期	R7~R13	基準年	R6	経済効率性	費用	209 百万円	便益	253 百万円		建設費	207 百万円	一般資産被害抑止	59 百万円		維持管理費	2 百万円	公共土木施設等被害抑制	8 百万円				人身被害抑止	16 百万円					その他※	170 百万円		B/C			1.2							※その他は、応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失) 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている									②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 60% < 70%未済※ ・重要公共施設の有無 無 (保全対象=人家10戸、県道L=110m、市道277m) ※評価基準値									□副次目標 — □副次効果 —									(2) 整備内容と整備量					④事業実施・規模の妥当性				①整備内容					流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である				・砂防堰堤 1基 H=5.0m L=39.0m									②着手年度 令和7年度					⑤整備手法の有効性				③完成見込年度 令和13年度					地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設設計画とした				④総事業費 約250百万円 (国費125百万円(5/10)県費125百万円(5/10))					⑥環境負荷等への配慮									掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮				⑤年度別の整備内容 (事業費)					⑦事業計画の熟度				令和7年度 詳細測量、詳細設計、地質調査 20 百万円					地元の要望に基づいている				令和8年度 用地測量、用地調査、用地取得・補償 20 百万円					総合評価				令和9~13年度 砂防堰堤工事 210 百万円					[貢献度ランク: b]				※記載内容は見込みであり、確定したものではない。					(4) 事業位置図等				⑥既整備内容・期間・事業費									・砂防堰堤 1基								
	妥当		妥当でない																																																																																																																																																																																																																																			
①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当																																																																																																																																																																																																																																						
○																																																																																																																																																																																																																																						
②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当																																																																																																																																																																																																																																						
○																																																																																																																																																																																																																																						
③経済妥当性																																																																																																																																																																																																																																						
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>250 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R13</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>209 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">253 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>207 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">59 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>2 百万円</td> <td>公共土木施設等被害抑制</td> <td colspan="2">8 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">16 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">170 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">B/C</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1.2</td> </tr> </table>		総事業費	250 百万円	工期	R7~R13	基準年	R6	経済効率性	費用	209 百万円	便益	253 百万円		建設費	207 百万円	一般資産被害抑止	59 百万円		維持管理費	2 百万円	公共土木施設等被害抑制	8 百万円				人身被害抑止	16 百万円					その他※	170 百万円		B/C			1.2																																																																																																																																																																																																
総事業費	250 百万円	工期	R7~R13	基準年	R6																																																																																																																																																																																																																																	
経済効率性	費用	209 百万円	便益	253 百万円																																																																																																																																																																																																																																		
	建設費	207 百万円	一般資産被害抑止	59 百万円																																																																																																																																																																																																																																		
	維持管理費	2 百万円	公共土木施設等被害抑制	8 百万円																																																																																																																																																																																																																																		
			人身被害抑止	16 百万円																																																																																																																																																																																																																																		
			その他※	170 百万円																																																																																																																																																																																																																																		
B/C			1.2																																																																																																																																																																																																																																			
※その他は、応急対策 (家計)、人的被害 (精神的損失) 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている																																																																																																																																																																																																																																						
②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 60% < 70%未済※ ・重要公共施設の有無 無 (保全対象=人家10戸、県道L=110m、市道277m) ※評価基準値																																																																																																																																																																																																																																						
□副次目標 — □副次効果 —																																																																																																																																																																																																																																						
(2) 整備内容と整備量					④事業実施・規模の妥当性																																																																																																																																																																																																																																	
①整備内容					流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である																																																																																																																																																																																																																																	
・砂防堰堤 1基 H=5.0m L=39.0m																																																																																																																																																																																																																																						
②着手年度 令和7年度					⑤整備手法の有効性																																																																																																																																																																																																																																	
③完成見込年度 令和13年度					地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設設計画とした																																																																																																																																																																																																																																	
④総事業費 約250百万円 (国費125百万円(5/10)県費125百万円(5/10))					⑥環境負荷等への配慮																																																																																																																																																																																																																																	
					掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮																																																																																																																																																																																																																																	
⑤年度別の整備内容 (事業費)					⑦事業計画の熟度																																																																																																																																																																																																																																	
令和7年度 詳細測量、詳細設計、地質調査 20 百万円					地元の要望に基づいている																																																																																																																																																																																																																																	
令和8年度 用地測量、用地調査、用地取得・補償 20 百万円					総合評価																																																																																																																																																																																																																																	
令和9~13年度 砂防堰堤工事 210 百万円					[貢献度ランク: b]																																																																																																																																																																																																																																	
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。					(4) 事業位置図等																																																																																																																																																																																																																																	
⑥既整備内容・期間・事業費																																																																																																																																																																																																																																						
・砂防堰堤 1基																																																																																																																																																																																																																																						

2. 添付資料シート



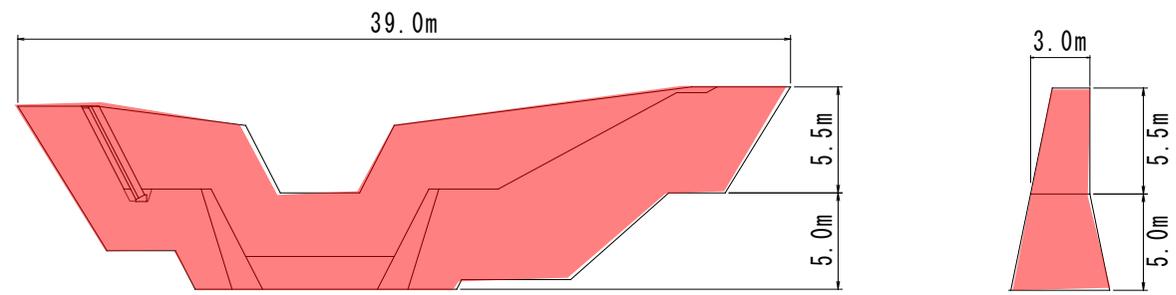
① 荒廃状況



② 保全対象(県道 大野夏狩線)



側面図



- 【凡例】**
- 計画砂防堰堤
 - 既設砂防堰堤
 - 流域境界
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
 - ▲ 計画基準点

正面図